

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	福岡女学院看護大学
設置者名	学校法人福岡女学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
看護学部	看護学科		—	—	57	57	13	—
(備考) 2018年度以降入学生用カリキュラム 1,2,3年生 2017年度以前入学生用カリキュラム 4年生								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

公表方法：ホームページ https://ns.fukujo.ac.jp/educate/study/syllabus

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	福岡女学院看護大学
設置者名	学校法人福岡女学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://www1.fukujo.ac.jp/about.html#officer>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	(株)九州リース 取締役社長	令和元年6月1日 ～令和4年6月31 日	財務
非常勤	(株)西日本新聞 編集局総務	平成30年6月1日 ～令和3年5月31 日	広報
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡女学院看護大学
設置者名	学校法人福岡女学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p> <p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画書(シラバス)作成過程】 本学の授業計画書作成は以下の手順で実施している。 ①教務部委員会で「シラバス作成要領」(以下、「要領」)を審議、承認 ②教員に「要領」を配信し、シラバス作成を依頼 ③入稿後、第三者によるシラバスチェック実施、結果を各教員にフィードバック ④③を受けて修正、最終確認の後、Web公開を行う</p> <p>【作成及び公開時期】 ①シラバス作成依頼 : 11月上旬 ②第三者によるシラバスチェック実施 : 1月中旬 ③フィードバック修正期間 : 1月下旬～2月 ④Web公開 : 3月中旬～4月</p> <p>【授業計画書記載事項】 「他の科目のつながり」「授業概要」「到達目標」「授業の(運営)方法」 「授業計画(内容)」「各回の学習課題」「事前・事後学習時間」「教科書・参考書」 「成績評価方法」「留意事項」「実務経験教員による授業の概要」</p>																		
授業計画書の公表方法	<p>ホームページ掲載 https://ns.fukujo.ac.jp/educate/study/syllabus</p>																	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>【単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況】 単位授与並びに入学前の既修得単位等の認定については福岡女学院看護大学学則及び履修規程に定め、学生に対しては入学時及び各年度における教務・履修オリエンテーション等にて周知を行っている。 成績評価は、授業計画書(シラバス)に記載のとおり、試験や提出課題、授業参加度などを総合的に判断して各科目の目標到達度を、また、授業において事前学習課題を提示し、課題提出や小テスト実施等により授業時間外の学習を促し、単位時間相当の学修成果を確認するなど、適正な方法で実施している。 成績評価基準は以下のとおり</p> <table border="1" data-bbox="539 1644 1072 1921"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>評価</th> <th>成績評価基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">合格</td> <td>AA</td> <td>100点～90点</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>89点～80点</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>79点～70点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>69点～60点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">不合格</td> <td>D</td> <td>59点～0点</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>失格・放棄</td> </tr> </tbody> </table>		区分	評価	成績評価基準	合格	AA	100点～90点	A	89点～80点	B	79点～70点	C	69点～60点	不合格	D	59点～0点	F	失格・放棄
区分	評価	成績評価基準																
合格	AA	100点～90点																
	A	89点～80点																
	B	79点～70点																
	C	69点～60点																
不合格	D	59点～0点																
	F	失格・放棄																

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

【客観的な指標の具体的な内容（指標の算出方法）】

各学年における成績評価を客観化するために GPA 制度を導入し、合格・不合格の評価を 5 段階で実施。成績審議、進級判定、卒業判定時の総合データの一つとして活用している。また、学生に対する学習指導や奨学生の推薦、卒業判定における総合判定データの一つとしても利用している。

【客観的な指標の適切な実施状況】

区分	評価	成績評価基準	1 単位あたり GP
合格	AA	100 点～90 点	4
	A	89 点～80 点	3
	B	79 点～70 点	2
	C	69 点～60 点	1
	N	認定	—
不合格	D	59 点以下	0
	F	失格	0

【GPA の算出方法】

成績が確定した科目の成績評価の GP に、その科目に与えられている単位数をかけたものを、総単位数で割ります。計算式は以下のとおり。

$$4 \times \text{AA の修得単位数} + 3 \times \text{A の修得単位数} + 2 \times \text{B の修得単位数} + 1 \times \text{C の修得単位数} + 0 \times \text{D の修得単位数} + 0 \times \text{F の修得単位数}$$

GPA =

総単位数 (D・F の単位数も含む)

客観的な指標の
算出方法の公表方法

ホームページ、冊子(CAMPUS LIFE 2020)掲載
https://ns.fukujo.ac.jp/burger_editor/burger_editor/dl/151__MjAyMOOCreODo_ODs_ODkeOCueODqeOCpOODIV-mnKzmloc-d-.pdf

※冊子配布先：学生、実習施設、進学及び入試説明会等参加者等

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【卒業の認定に関する方針の具体的内容】</p> <p>本学では所定の単位を修得し、次に掲げる能力を身につけた学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キリスト教の愛の精神にもとづき「その人をその人として大切にする」こころを身につけた人 2. 人間を全人的に理解し、生命の尊厳と人権の尊重にもとづく倫理観をもち、他者の権利擁護につとめることができる人 3. 人とのかかわりを通して、他者の成長を助けるとともに自分も成長できる人 4. 看護の専門職として必要な問題解決能力を持ち、確かな知識に裏づけられた看護実践ができる人 5. さまざまな専門職と協働し、組織の中で連携しながら看護の役割と責任を果たすことができる人 6. 広い視野をもって継続的に自己研鑽ができる人 <p>【卒業の認定に関する方針の適切な実施状況】</p> <p>教育理念・教育目標に沿って設定した授業科目を大学学則ならびに履修規程に従って卒業要件の126単位以上を修得し、4年以上在学した者について、学位授与方針を踏まえて、教務部委員会、教授会、運営会議にて卒業判定を厳正に実施、学長が卒業を認定したものに学士（看護学）の学位を与え、卒業証書・学位記を授与する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページ、冊子(CAMPUS LIFE 2020)掲載</p> <p>https://ns.fukujo.ac.jp/educate/study/four_years_learning#bge-policy03</p> <p>※冊子配布先：学生、実習施設、進学及び入試説明会等参加者等</p>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	福岡女学院看護大学
設置者名	学校法人福岡女学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.fukujo.ac.jp/disclosure.html
収支計算書又は損益計算書	https://www.fukujo.ac.jp/disclosure.html
財産目録	https://www.fukujo.ac.jp/disclosure.html
事業報告書	https://www.fukujo.ac.jp/disclosure.html
監事による監査報告(書)	https://www.fukujo.ac.jp/disclosure.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページ	https://ns.fukujo.ac.jp/information_disclosure/
--------------	---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページ	https://ns.fukujo.ac.jp/information_disclosure/
--------------	---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 看護学部
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページ) https://ns.fukujo.ac.jp/information_disclosure/
(概要) 本学はキリスト教に基づく福岡女学院創立の精神に則り、看護・保健医療分野の専門知識と技術を教授・研究し、あわせて豊かな教養と人間性を兼ね備えて、地域医療への寄与、人々の活力向上に貢献する看護・保健医療専門職の女性を育成することを目的とする。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: ホームページ) https://ns.fukujo.ac.jp/educate/study/four_years_learning#bge-policy03
(概要) 本学では所定の単位を修得し、次に掲げる能力を身につけた学生に対して卒業を認定し、学位を授与する。 1. キリスト教の愛の精神にもとづき「その人をその人として大切にす」ころを身につけた人 2. 人間を全人的に理解し、生命の尊厳と人権の尊重にもとづく倫理観をもち、他者の権利擁護につとめることができる人 3. 人とのかかわりを通して、他者の成長を助けるとともに自分も成長できる人 4. 看護の専門職として必要な問題解決能力を持ち、確かな知識に裏づけられた看護実践ができる人 5. さまざまな専門職と協働し、組織の中で連携しながら看護の役割と責任を果たすことができる人 6. 広い視野をもって継続的に自己研鑽ができる人
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページ) https://ns.fukujo.ac.jp/educate/study/four_years_learning#bge-policy02
(概要) 本学の教育課程は、キリスト教に基づく豊かな人間性を持った看護専門職者を育成できるように構成されている。さらにヒューマンケアリングの実践者として、倫理観、コミュニケーション能力、看護実践能力を育成・強化するために、さまざまな科目にシミュレーション教育を導入している。 1. 教育理念の中核をなすキリスト教関連科目とヒューマンケアリング論は 1 年次から 4 年次まで配置し、看護学の学びの統合を図った。 2. 教養科目では、人間形成に必要な科目を増やすと共に選択の幅を広げた。 また、多言語医療支援コースを設け、多言語学習とともに多文化理解を深め、外国人の医療・看護を支援できるようにした。 3. 入学前の学習や初學者教育など、新入生の学習準備状況に合わせたプログラムを編成し、安心して大学の教育課程をスタートできるようにした。 4. 専門基礎分野では、看護を実践するために必要な知識となる、人体の構造や機能、生理、疾病の成り立ちと回復、生活と健康などを学習する科目を設置した。 5. 専門分野では、看護学の知識の修得から実践へと段階的に学べるように配置した。 また、他職種と連携しながら拡大していく看護の役割を理解できるようにした。 6. 統合分野では、卒業後も継続して自己研鑽し、科学的視点からの研究や国際的視点から看護を探究できるように卒業研究や災害看護、国際看護、看護管理などを学ぶ科目を設けた。

<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページ・冊子「入学案内」） https://ns.fukujo.ac.jp/educate/study/four_years_learning#bge-policy01 ※冊子については、高校訪問や入試説明会等で説明、配布を行なっている。</p>
<p>(概要)</p> <p>本学では卒業認定・学位授与方針、教育課程編成方針を踏まえ、入学者受け入れ方針を以下のとおり定めている。</p> <p>本学では次に掲げる能力を持つ学生を求めています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自分と他者を大切にできる人 2. 他者の悩みや苦しみに共感できる人 3. 主体的に物事を探求しようとする意欲がある人 4. 人々の健康や生活に関心がある人 5. 看護学を学ぶための基礎的学力を備えている人

②教育研究上の基本組織に関すること

<p>公表方法：ホームページ https://ns.fukujo.ac.jp/information/teacher</p>
--

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
看護学部	—	10人	9人	6人	11人	3人	39人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		39人					39人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： https://ns.fukujo.ac.jp/information/teacher					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
授業の質向上を目的として授業公開（専任教員対象）や、学生による授業評価を実施している。							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
看護学部	100人	117人	117%	400人	467人	117%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100人	117人	117%	400人	467人	117%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
看護学部	108人 (100%)	3人 (3%)	101人 (94%)	4人 (4%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	108人 (100%)	3人 (3%)	101人 (94%)	4人 (4%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
【看護師】 福岡東医療センター、国立国際医療研究センター病院、九州がんセンター 他国立病院機構：22名 九州大学病院、産業医科大学病院、東京大学医学部附属病院 他大学病院：48名 福岡市民病院、地域医療機能推進機構九州病院、福岡市立こども病院 他総合病院：31名				
【進学先】 聖路加国際大学看護学研究科ウィメンズヘルス助産学専攻 他：3名				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)

学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
看護学部	111人 (100%)	99人 (89%)	8人 (7%)	4人 (4%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	111人 (100%)	99人 (89%)	8人 (7%)	4人 (4%)	人 (%)
(備考) 留年は殆どが実習要件に必要な科目が未修得であるなど、厳格な成績評価によるものである。 中途退学は本学が資格取得を目的としたものであることから、進路変更によるものである。					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)	
【授業計画書（シラバス）作成過程】 本学の授業計画書作成は以下の手順で実施している。 ①教務部委員会で「シラバス作成要領」（以下、「要領」）を審議、承認 ②教員に「要領」を配信し、シラバス作成を依頼 ③入稿後、第三者によるシラバスチェック実施、結果を各教員にフィードバック ④③を受けて修正、最終確認の後、Web公開を行う	
【作成及び公開時期】	
①シラバス作成依頼	: 11月上旬
②第三者によるシラバスチェック実施	: 1月中旬
③フィードバック修正期間	: 1月下旬～2月
④Web公開	: 3月中旬～4月
【授業計画書記載事項】	
「他の科目のつながり」「授業概要」「到達目標」「授業の(運営)方法」 「授業計画(内容)」「各回の学習課題」「事前・事後学習時間」「教科書・参考書」 「成績評価方法」「留意事項」「実務教員による授業概要」	

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
【単位授与又は履修認定の厳格かつ適正な実施状況】 単位授与並びに入学前の既修得単位等の認定については福岡女学院看護大学学則及び履修規程に定め、学生に対しては入学時及び各年度における教務・履修オリエンテーション等にて周知を行っている。 成績評価は、授業計画書（シラバス）に記載のとおり、試験や提出課題、授業参加度などを総合的に判断して各科目の目標到達度を、また、授業において事前学習課題を提示し、課題提出や小テスト実施等により授業時間外の学習を促し、単位時間相当の学修成果を確認するなど、適正な方法で実施している。				
成績評価基準は下表のとおり				
	区分	評価	成績評価基準	
	合格	AA	100点～90点	
		A	89点～80点	
		B	79点～70点	
		C	69点～60点	
	不合格	D	59点～0点	
		F	失格・放棄	
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
看護学部	看護学科	126単位	有	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページ https://ns.fukujo.ac.jp/information_disclosure/

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
看護学部	看護学科	1,100,000円	300,000円	200,000円	施設設備費、実習費
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要)

本学ではアドバイザー制度を設け、助手以上の教員が15～18名(各学年5～7名)の学生を担当し、相談体制を整えて面談等を行っている。

修学支援においては、主として学生部委員会とアドバイザーをはじめとした学内教職員が連携して学生が有意義で充実した生活を送ることができるよう、学修、経済的、生活、健康、進路などの支援を行っている。

また、教職員の学生支援に対する資質向上のため、年に数回「アドバイザー会議」を実施、講義やグループワークを通して対応のあり方の検討を行っている。

- ・「福岡女学院看護大学自己点検・評価報告書 2014～2016」P-47

https://ns.fukujo.ac.jp/burger_editor/burger_editor/dl/101__

MjAxNC0xMDE2X2ppa290ZW5rZW5oeW91a2E-d-.pdf

- ・刊行物「CAMPUS LIFE」、ホームページ CAMPUS LIFE P-57

https://ns.fukujo.ac.jp/burger_editor/burger_editor/dl/

151_MjAyMOOCreODo_ODs_ODkeOCueODqeOCpOODIV-mnKzmlc-d-.pdf

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要)

就職・進学等の支援はアドバイザーと学生部委員会に組織される進路担当者が中心となって行っている。4年次生全体に対しては就職オリエンテーションや各種対策講座などを実施、個別には学生自身が作成する「進路登録・報告カード」を基にアドバイザーが学生一人ひとりに応じた進路指導を行い、その状況等については学生部委員会や教務部委員会等に報告し、情報を共有している。

例年4月には学内において実習病院を中心とした「病院等施設説明会」を開催、九州圏内外より多くの参加をいただき、病院の規模や環境、それぞれの看護師教育制度等について多くの情報を得る機会としている。(※2020年度においては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、個別にWeb説明会などを実施)

- ・「福岡女学院看護大学自己点検・評価報告書 2014～2016」P-47, 54, 55

https://ns.fukujo.ac.jp/burger_editor/burger_editor/dl/101__

MjAxNC0xMDE2X2ppa290ZW5rZW5oeW91a2E-d-.pdf

- ・ホームページ「資格・進路」

<https://ns.fukujo.ac.jp/educate/feature/employment>

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要)

心身の健康等の支援は、主に学生部委員会に組織される保健担当者、保健室職員が臨床心理士、アドバイザー、学務課職員と連携をとりながら行っている。

健康管理においては年1回の定期健診を実施するとともに、学生の自己健康管理及び感染症罹患時の速やかな対応のため「感染症に関するセルフケアファイル」を作成、配付している。また、臨地実習開始前には感染症予防ならびに対応についてオリエンテーションを実施している。

心理相談においては週1回臨床心理士によるカウンセリングを設置、身体面においては保健室職員（保健師・看護師）が健康相談や健康診断を通じて病気の予防や早期発見、応急処置等と必要に応じて外部の医療機関や臨床心理センターとの連携・調整を行うと共に、課題のある学生などについては学生部委員会、運営会議に報告し情報の共有を行っている。

- ・「福岡女学院看護大学自己点検・評価報告書 2014～2016」P-47

https://ns.fukujo.ac.jp/burger_editor/burger_editor/dl/101__MjAxNC0xMDE2X2ppa290ZW5rZW5oeW91a2E-d-.pdf

- ・刊行物「CAMPUS LIFE」、ホームページ CAMPUS LIFE P-61～63

https://ns.fukujo.ac.jp/burger_editor/burger_editor/dl/151__MjAyM00Cre0Do_ODs_ODke0Cue0Dqe0Cp00D1V-mnKzml0c-d-.pdf

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページ https://ns.fukujo.ac.jp/information_disclosure/